



# 「片山かおる & 矢島助産院の矢島床子さんと語りあおう！」 2/26@カエルハウスの報告



矢島さんに会うために、去年産んだ人から 30 年近く前に産んだ人、5000 人目の赤ちゃんのおばあちゃんまで集まりました。だれかに産ませてもらうのではなく、自分の力で自分らしいお産をすることで、自信が生まれ、子どもに向き合うことができます。お産を語りあうことは、なんと豊かな時間なのでしょうか。私たちにはこういう場がたびたび必要なのです。8 年前に語ってもらった矢島さんの描く、パースセンターやお産の町構想から、今のお産の状況は良くなっているでしょうか。管理されたお産。自然に産む力が弱められています。私たちは、

どんなお産や医療連携、子育て環境を望むのか。助産院と共に求め、つくりあげていきたいと思っています。福島原発事故後、統計などは出ていませんが、出産時に気になる事象のある子どもが増えているといえます。助産師という命を産む現場から発信しなくてはならない問題である、と語ってくれました。

## 応援します!

- こぐれみわぞう (音楽家) 上原公子 (元国立市長)
- 山田真 (小児科医) 鎌仲ひとみ (映画監督)
- 大熊ワタル (音楽家) 矢島床子 (母子のサロン 矢島助産院 助産婦)
- 黒坂圭太 (武蔵野美術大学教授) 満田夏花 (環境団体理事)
- 瀬瀬あや (映画監督) イトー・ターリ (パフォーマンス・アーティスト)
- 井筒高雄 (元自衛隊レンジャー) 吉岡淳 (カフェスロー代表)

## 片山かおるの 小金井まちづくりプラン 2017



### 1 「市民参加」を 市政のだ真ん中に

- ★対決型から提案型議会へ。
- ★市民が主体の市政を「自治基本条例」で実現
- ★公正で男女平等な労働環境をつくる「公契約条例」を



#### 住民参加型の福祉の町へ

公民館本館を含む新福祉会館づくりで実現しよう!  
新庁舎建設は早く安く環境配慮と市民参加で

### 2 子どもの権利条例を 活かそう!

- ★「子どもの貧困対策条例」の制定を
- ★差別なく、だれもがいっしょに学べる「みんなの学校」を
- ★制服や給食の保護者負担を削減し、義務教育の無償化を
- ★子どもに居心地のよい小規模異年齢保育を
- ★子ども食堂や生活困窮者を支援するフードバンクを
- ★家で産み家で看取る地域医療と子育て支援に助産院の力を



#### 障がいがあってもなくても共に暮らせる町に

### 3 人がつながりにぎわいのある 格差のない町に

- ★大規模再開発より、個人商店を大事に
- ★市民の居場所となる図書館本館計画を市民参加で
- ★空き家や空きアパートを活用して、安い賃貸住宅を
- ★高齢者や障がい者、子どもの居場所となる寄り合い所を市内各所に
- ★市民と市が協力した市民映画館をつくり、小金井を映画の町へ

原発のない 平和な未来を 選びとろう!



### 4 平和な世界づくりを 発信!

- ★憲法カフェを公民館で開催。平和憲法を学び直す
- ★市民主体の「小金井平和の日」と「中東和平プロジェクト」を
- ★「日の丸・君が代」の強制をなくし平和教育の充実を



#### 野川とはげをこわす道路はいらない!

### 5 脱原発、地球温暖化防止の 先進都市へ GO!

- ★原発事故避難者を地域から支援
- ★旧「雨デモ風デモハウス」から環境先進都市を発信
- ★地産地消のカフェを併設した資源化施設を

#### 片山かおるプロフィール

1966 年、長崎県生まれ杉並育ち。都立豊多摩高校卒業。高 3・大 3 の男の子とパートナー、猫と共に前原町在住。2009 年より市議会議員、現在 2 期目。いかそう! 子どもの権利条例の会、武蔵野はらっぱ祭り実行委員会、「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟など、小金井と全国の仲間と共に活動中。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町 4-17-11 tel:042-316-1511  
http://katayamakaoru.net office@katayamakaoru.net  
ツイッター、フェイスブックは「片山かおる」で検索